



成田市公民館 ニュースレター

第3号

令和2年
3月13日発行

7～8月に行われた、夏休み講座の様子をお知らせします！

紹介する事業名 夏休み工作教室(P1)、夏休み子ども絵画教室(P2)、空港わくわく探検隊(P3)、わくわく夏休み親子料理教室(P4)、夏休み親子科学実験教室(P5)、夏休み親子ライトレースカー工作教室(P6)、夏休み親子そば打ち教室(P7)、夏休み子どもトールペインティング教室(P8)

7月27日(土)「夏休み工作教室 ねん土で作ろう！貯金箱」/久住公民館

親子14組29名の参加をいただいて、講座を行いました。紙ねん土を使って貯金箱を作成する内容で、はじめに講師から、粘土の扱い方、色の付け方の説明を受け、各自でデザインをスケッチしてから作品を作り始めていきました。すべての保護者が熱心に作品づくりに関わっているのが印象的でした。ボランティアの方を加えた、3人の講師に参加者の間を回っていただきながら優しく丁寧に教えていただきました。最後に作品が完成し満足気に親子で写真を撮っている様子からも親子で協力して一つの作品を作ることはもちろん、夏休みの楽しい思い出作りにもなったと思います。



7月28日、8月4日・11日(日)「夏休み子ども絵画教室」／公津公民館

夏休みの宿題にも使える、水彩画を描く教室です。

今年も、公津公民館登録サークル「^{ぎんせん}銀尖^{かい}の会」のみなさまに講師をお願いして開催しました。

参加者には大小2種類の画用紙から選んでもらい、好きな題材(描きたいものを持参)を何枚描いても良いという形で実施しました。勢いよく何枚も絵を描き上げる子もいれば、1枚の絵に対して3日間通して描き続ける子もいる等それぞれの個性がでており、また、講師も各自の個性を伸ばそうと、その子のやり方を褒めながら指導していただいたため、全体的に伸び伸びとした雰囲気^{雰囲気}の講座となりました。



7月30日(火)「空港わくわく探検隊」／中央公民館

成田市の特徴でもある、成田国際空港を親子で探検しようという人気の事業です。

空港に到着した後、まず空港の全体像をDVDを通して学んだあと、再びバスに乗り空港内の制限区域に入りました。入る直前には、爆発物を所持していないかを確認する「スクリーニング検査」が参加者全員に行われました。手をさっと拭き取る簡単な検査でしたが、警備の厳重さを感じられる良い経験になったと思います。制限区域のなかでは、ブラストフェンス（飛行機のエンジンから出る風よけ）がないとコンテナが簡単に飛んで行ってしまうなどスケールの



の大きいお話を聞くことができました。また、滑走路脇で一旦降車した際には、限定パイントの飛行機からプライベートジェットまで様々な飛行機を見学することができました。制限区域を出た後はランプコントロールタワーを見学しました。開港から使用されているもので、随所にその歴史を感じることができました。現在新しいタワーが建設中であり、その様子も見学できたことは良い経験でした。

昼食休憩を兼ねた自由行動のあとは、税関見学を行いました。まずはDVDで税関の全体像を学んだあと、麻薬探知犬の働きを体験しました。10名の子ども達にそれぞれカバンを持たせ、麻薬のにおいを見破れるか、というものでしたが、麻薬のにおいを見事に嗅ぎ分けたあと、ご褒美として白いタオルが与えられました。この白いタオルでパートナーの人間と遊ぶことが麻薬探知犬にとっての最大の喜びだからということ



とです。犬と人間との強い結びつきを感じられた一場面でした。税関見学の最後には、手荷物検査のデモンストレーションを行いました。税関職員になりきり検査をすることで、いかに巧みな手口で違法なものを手荷物に紛れさせているのかを知ることができました。

8月1日(木)「わくわく夏休み親子料理教室」／中央公民館

いつも学校給食の献立を作ってくれている学校栄養士の方を講師に迎えた講座です。実習を行う前の注意事項では、火傷やケガをしないように、また手をきちんと洗うことなど、細かく丁寧な説明があり、またデモンストレーションの中では、包丁の持ち方、材料の切り方、使用する食材の豆知識なども教えていただきました。講師に各班を回っていただき調理をサポートしていただけたので、「準備、進行においても快適に作業ができた。」とアンケートでも好評でした。また「親子で充実した時間が過ごせた。」「同じ班の方と仲良く協力できた。」「子どもと一緒に料理を作るきっかけになった。」などの意見も多数ありました。



8月3日(土)「夏休み親子科学実験教室」／中央公民館

毎年、豊住地区にあるTDK株式会社の協力を得て、開催している講座です。

最初にTDKの会社紹介をし、磁力の特性を説明したのちに、メインの実験である手回し発電機の作成を行いました。

なかなか上手く作成が進まない参加者もいましたが、講師であるTDKのみなさんたちのきめ細かいサポートにより、最終的には全参加者が作品を完成させ、自分たちで作上げた作品に満足感を感じていたようでした。

また、アンケートにおいても大多数が「良かった」という感想を抱いていることから、子ども達の科学への好奇心を刺激でき、地元企業の協力の下で実施したことで、地域社会への関心をもってもらえるきっかけを作れたのではないかと思います。



8月24日(土)・25日(日)

「夏休み親子ライトレースカー工作教室」／下総公民館

下総高校の協力を得て、地面に引かれた線を辿って動くミニカーを製作し、タイムを競う講座です。

1 日目はモデルタイプとなるライトレースカーを全員同じように製作しました。はんだごてを使って基盤を作成したり、ドリルを使ってタイヤに穴をあけたりするなど、危険を伴う作業もありましたが、全員が怪我なく作業することができました。また、先生の計らいで居残りをし、満足のいくまで作業をする子もいるなど、みんな工作に熱中していました。



2 日目午前中は、前日製作したライトレースカーを仕上げ、全員が同じモデルタイプでコースを完走できたため、タイムの記載のない完走認定証を渡しました。その後、午後からのタイムレースに向けて自分で考えながら改造・改良を行いました。

午後のタイムレースでは、1人3回タイム測定を行い、それぞれのベストタイムを記載した完走認定証を渡し、ベストタイム上位3名の子に表彰を行いました。

この講座では、試行錯誤しながら自らが考え成果につなげていくという、能動的な学習を体験でき、今後においてもその考え方・取り組み方は役立つと思われます。



8月18日(日)「夏休み親子そば打ち教室」／成田公民館

毎年恒例となっている、本職の蕎麦屋さんを講師に招いて行うそば打ち教室です。

講師紹介の後、そば粉を混ぜ捏ね、打って伸して、包丁で切るまでの一連の手順を参加者全員で行いました。要所で体験風景の撮影や、休憩を挟みながら、講師の人柄にもより和気あいあいとした雰囲気の中で進んでいきました。

体験後の試食では、講師が予め打ってきたそばを職員がサポートに入りながら、自分たちで茹でて盛り付け、おいしくいただきました。参加者が打ったそばについては、衛生面の配慮から、食べることなく記念として持ち帰りました。

講師の指導はわかりやすく丁寧で、参加者からはそば打ちを通して親子で貴重な体験をすることができたという声が多数聞かれ、そばという身近な食文化を親子で学ぶ良い機会になったと思われます。



8月24日(土)

「夏休み子どもトールペインティング教室」／豊住公民館

例年、開催している、木製や布製などの道具に絵の具で絵を描き、きれいに装飾する「トールペインティング」を体験できる教室です。

低学年と高学年に分かれ、木綿のバッグにひまわりの絵を描きました。お昼休憩をはさんでの長時間の教室となるため、集中力が切れないか心配していましたが、低学年の子どもたちも真剣に作品作りに取り組むことができました。

中学生になっても参加したい子どももいる様子なので、来年度は中学生を対象に入れることも検討したいと思います。

